

# 我孫子動物彫刻展 島田忠幸 プリニウスの動物たち

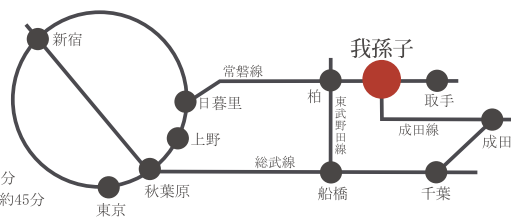


第二十回  
我孫子  
アートな  
散歩市

2020年10月1日(木)～11月19日(土)

アビシルベ・千葉銀行我孫子支店・アビスタ・手賀沼公園ミニSL子ども広場・杉村楚人冠邸園  
我孫子市役所・ゲートスポット(親水広場入り口)・水の館・手賀沼親水広場 (\*会期は場所により若干異なります。)

## ACCESS



東京より：JR上野東京ライン快速取手行きにて約42分  
JR山手線にて日暮里乗り換えJR常磐線で約45分  
成田より：JR成田線にて約43分

主催：我孫子手づくり散歩市  
共催：我孫子市 我孫子市教育委員会  
協賛：我孫子建設業会 立沢建設株式会社  
板橋建設株式会社 三協フロンティア株式会社  
協力：千葉銀行我孫子支店

ABIKO ART Walk 2020

<https://abikoartwalk.wixsite.com/sanpoichi>



# 我孫子動物彫刻展 島田忠幸 プリニウスの動物たち

かつて北の鎌倉と称された我孫子は、柳宗悦や志賀直哉、武者小路実篤といった白樺派の文人や杉村楚人冠などの文化人に愛された素敵なところ。また、山階鳥類研究所や我孫子市鳥の博物館のある「鳥のまち」としても知られ、秋にはジャパンバードフェスティバルで賑わいます。

そんな我孫子市が市制50周年を迎えるにあたり、市民による手づくりのアートイベントとして活動してきた「我孫子アートな散歩市」では、取手市在住の彫刻家島田忠幸さんを迎えて我孫子動物彫刻展・島田忠幸「プリニウスの動物たち」を開催する運びとなりました。

プリニウスは古代ローマの博物学者で、自然界を網羅する古代最大の百科全書「博物誌」を著しました。そこに記されているようなアルミを素材としたシマウマやキリン、ダチョウやハシビロコウといった動物たちが我孫子市内9箇所に登場します。

手賀沼と利根川に挟まれた馬の背状の台地に街が形成され、豊かな自然環境や眺望が思考や創造の場となり、やすらぎや癒しを与えてくれる景観～ヒーリングランドスケープ～のある我孫子のまちを歩きながら、プリニウスの動物たちとの出会いをお楽しみください。

- A** アビシルベ : 10/19(月)-11/19(木) 9:00-18:00
- B** 千葉銀行我孫子支店 : 10/1(木)-11/19(木) 9:00-21:00
- C** アビスタ : 10/1(木)-11/1(日) 9:00-21:00 月曜休館
- D** 手賀沼公園ミニSL子ども広場 : 10/1(木)-11/19(木) 終日展示  
ワイヤーアートによる動物のモケットを数体展示
- E** 杉村楚人冠邸園 : 10/1(木)-11/19(木) 9:00-16:30 月曜休館
- F** 我孫子市役所 : 10/2(金)-11/19(木) 8:30-17:00 土日祝日休み
- G** ゲートスポット : 10/1(木)-11/19(木) 終日展示
- H** 水の館 : 10/1(木)-11/3(火) 9:00-18:00 第4水曜休館
- I** 手賀沼親水公園 : 10/1(木)-11/19(木) 終日展示

手賀沼周遊レンタサイクル  
大人 500円、小学生以下 300円  
土曜、日曜、祝日のみ。9:00～16:00  
(貸出 15:00 まで)

雨天・荒天時は営業しません

- 手賀沼公園
- サイクルパーク我孫子南
- 我孫子市鳥の博物館
- 道の駅しょうなん 他

TEL:090-4520-3603 (営業日のみ)

Photo:SAITO Sadamu

## アートを巡るトークツアー

10/25(日) 13:00～16:00 水の館 展示室 集合 / アビシルベ 解散

島田忠幸さんと一緒に作品を鑑賞しながら我孫子をぶらぶら散歩します。詳しくは我孫子アートな散歩市のホームページでご確認ください。参加費無料。



島田忠幸さんは、1946年東京都生まれ取手市在住で、国内外で活躍する彫刻家です。1970年半ばから、点の集合としての砂に着目し、素材の持っている多義的な意味を追求してきました。1990年頃から素材を金属へと変え、アルミを主な素材として犬の甲冑ともいえる作品を展開し、2015年頃から動物園シリーズが始まりました。今回、我孫子市の市制施行50周年を記念し、我孫子国際野外美術展でも長く活動された島田忠幸さんを迎えて我孫子動物彫刻展を開催することとなりました。

50th ABIKOCITY ANNIVERSARY

我孫子市市制施行50周年記念事業  
我孫子アートな散歩市20周年記念  
壁画アート「静寂」  
OZ-尾頭-山口佳祐

7月1日、手賀大橋の下を通る遊歩道の隧道に、OZ-尾頭-山口佳祐さんの壁画が完成しました。

第二十回  
我孫子  
アートな  
散歩市



2020年開催予定の第20回我孫子アートな散歩市は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2021年5月に延期されましたが、我孫子市制50周年記念事業として、壁画アートを7月に、我孫子動物彫刻展を10月に行っています。



# ABIKO ART ZOO

## A アビシルベ

10/19(月)-11/19(木) 9:00-18:00 (シマウマは10/1から10/18までは水の館で展示)



### 草原の貴婦人(シマウマ)

美しいシマウマの縞模様が気になっていた。  
虫除け迷彩いろいろな説があるが定かではない。  
この模様を如何にして描くか、  
思いついたのが日本画で使う青銀箔。  
かなりシュールで良い。  
時間が経つと銀箔なので経年変化で黒っぽくなるのも楽しみだ。

## B 千葉銀行我孫子支店

10/1(木)-11/19(木) 9:00-21:00



### カモノハシ

日本の動物園にはいない。  
オーストラリアに行けば見られる。  
歯がなく、  
子供を卵で産む唯一の哺乳類。  
銅箔を貼り付けて仕上げた。

## B 千葉銀行我孫子支店

10/1(木)-11/19(木) 9:00-21:00



### タコ壺の兵士(プレーリードッグ)

巣穴から顔を出し、  
すぐに立ち上がり周りを見、  
監視する姿が実に面白い可愛い。  
映画「硫黄島からの手紙」で、  
兵士が塹壕を掘りながら海を見、  
監視するでもなく立ち上がる姿と重なり  
プレーリードッグに鉄兜を着けてみた。

## C アビスタ

10/1(木)-11/1(日) 9:00-21:00 月曜休館



### プリニウスのサイ(インドサイ大) おやサイ(インドサイ小)

制作にあたり、いきなり大きなモノを作るのは難しいし困難だ。  
まずは、床に3分の1の絵を描きそれに沿って番線を曲げて立体彫刻デッサンを作る。  
それを頼りにアルミニウム板を切ったり叩いたり。  
あるいは溶接して小型サイズの作品が出来上がり基本原型になる。  
これから本番だ!  
小さいサイは子供ではなく親サイになる。

## E 杉村楚人冠邸園

10/1(木)-11/19(木) 9:00-16:30 月曜休館



### 存在の不条理(イノシシ)

哺乳類は約4500種いるが、中でも嫌われ者はイノシシだ。  
人に見つかると退治され、鍋の中。  
でも大丈夫、子沢山だから。

## F 我孫子市役所

10/2(金)-11/19(木) 8:30-17:00 土日祝日休み



### 恋するゴリラ

ゴリラは荒々しく粗野なイメージがあるが、知能が高く繊細な性格でとてもシャイ。  
好きなメスが前にいるとイジイジして目を見ることすらできない。  
威嚇するときは両手で胸をたたき、音を出しドラミングする。  
戦いを避ける行為だ。

## G ゲートスポット

10/1(木)-11/19(木) 終日展示



### 見上げればアフリカ(キリン)

人類の祖先はアフリカで誕生して  
永い時を駆け現在にいたっている。  
アフリカが我々の故郷だ。  
キリンの首があれほど長いので  
きっとアフリカが見えてるはず。

## H 水の館

10/1(木)-11/3(火) 9:00-18:00 第4水曜休館



### ダチョウ

鳥の中で最も足が速く、  
時速60km以上で走ることができ、  
背の高さは2.2mにもなる。  
このダチョウは進化が進み100kmで走ることができる。

## H 水の館

10/1(木)-11/3(火) 9:00-18:00 第4水曜休館



### ハンビロコウ

動かない鳥として人気が高く、  
目は鋭く、  
静観な顔立ちのハンビロコウだが、  
羽を広げると2.5mにもなり飛べる。  
その翼が気になり作ってみた。

## I 手賀沼親水広場

10/1(木)-11/19(木) 終日展示



### 追うプリニウス逃げるプリニウス

心の意識の中で常に何かに脅えたり、  
逃げたいと思う強迫観念はだれにもあるだろう。時代の  
先頭を走ってた者の価値観が変わったら  
追われる者になっていた。  
戦前戦後またはコロナ禍。  
なにが善で悪だかわからない時代を感じる。  
追う者がいつの間にか追われる立場になり  
逃げるできない時代。